



元気な120才を創る会
延ばそう・健康寿命

月刊 高齢者見守りサービス最前線レポート



みまもりプレス

16.JAN.2020
1月16日号
通巻031号

■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもりプレス編集部 〒116-0001 東京都荒川区町屋 2-2-15 Primera ODA 301号
■2020年1月16日発行号 ■TEL.03-6807-8287 FAX.03-6807-7317 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

どこかなGPS



『どこかなGPS』公式サイト
<https://www.dokokana-gps.jp>

「どこかなGPS」は、「GPS機能」を搭載した正方形の小型デバイス。本体は約4・7cm四方の薄型軽量デザインとなっている。ス

「どこかなGPS」本局を組み合わせて利用することで、高い精度での測位も可能となっているという。

『どこかなGPS』が2月下旬に発売予定。ソフトバンク(東京都港区)では、子どもの見守りや大切な物の位置検索ができる『どこかなGPS』(ZTE製)を発売する。(2020年2月下旬以降より)

マホ専用アプリを通して、離れた場所から位置を検索することができる。さらに「GPS」に加え、「GLONASS」や準天頂衛星「みちびき」にも対応。Wi-Fiや携帯電話基地局を組み合わせて利用

新GPS端末、高精度測位に期待

ソフトバンク

『どこかなGPS』が2月下旬に発売予定

体中央のボタンを押すと、その時点の位置情報がスマホに通知される他、どこにいるかはその場ですぐに検索できる機能「いまどこ検索」や、あらかじめ指定したエリアから出入りしたことを通知する機能「ついたよ通知(GPS)」などに対応。さ

らに、3分間隔などで自動的に測位をしたり、3日分の移動履歴を残したりもできる。防水(IPX7)と防じん(IP6X)にも対応。今回の発売では、本体と2年間の通信料金がセットとなって販売される予定で、『ソフトバンク』以外のユーザーでも利用できるという。価格や販売チャネルなどは決まり次第リリースされるとのこと。

NEWアイテムひとくちMEMO

見守る『Sobamii』
離れて暮らす両親を

緊急通報システム装置『さすがの早助(サスケ)』を展開する周南マリコム(山口県周南市)では、新たな見守りシステム『Sobamii(ソバミー)』を開発した。

周南マリコム



<http://maricom01.jp>

シニアが元気になると
日本が元気になる！

元気シニア倶楽部
会員募集中!!

—入会費・年会費なし—

一般社団法人

日本元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 4-4-5 第3伊藤ビル4階
tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email.info@genkisenior.com



「電力使用量データ」で高齢者見守り運用実験

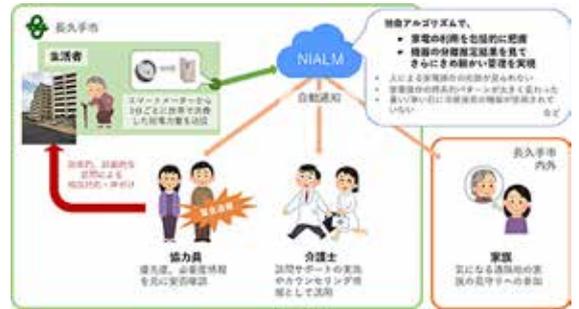
長久手市長寿課の取り組みに参画：ユビキタス AI コーポレーション

ユビキタス AI コーポレーション（東京都新宿区）では、愛知県長久手市長寿課（庁舎：長久手市岩作城ノ内）が実施する、電力使用量データを活用した「高齢者見守りシステム」の運用実験に参画した。（2019年12月より）長久手市長寿課では、高齢者が住み慣れた地域や自宅で、人生の最期まで自分らしい暮らしを続けるための仕組み（＝地域包括ケアシステム）づくりを目指した取り組みを推進。その一環として、2019年12月より、名古屋産業大学 現代ビジネス学部教授 石橋健一氏と共同でスマートメーターから収集した「電力使用量データ」を活用した高齢者見守りシステムの運用実験を実施する。

今回の運用実験は、スマートメーターからの電力使用量データを利用した高齢者の生活反応を推定するシステムを活用した「高齢者の見守りシステム」の有効性と、運用に際しての課題の検討が目的だという。

ユビキタス AI コーポレーションは、この運用実験で、同社のパートナー企業である「加賀電子」社製のスマートゲートウェイの開発と機器提供を行う。また、「トーマステクノロジー」が提供する『NIALM』を活用したクラウド上の利活用システムの開発と、運用実験のシステム運用も担当する。

同社では「今回パートナー企業と協力して提供した技術を活用し、高齢者見守りシステムの自治体向け導入パッケージのほか、損害保険事業者やホームセキュリティ事業者、新電力事業者向けのソリューションの提供を検討してまいります」としている。



<https://www.ubiquitous-ai.com>

見守りセンサー『眠りスキャン』新レンタル制度開始

1年更新ごとにレンタル料が低減し5年継続後無償譲渡：パラマウントベッド



眠り SCAN ベッド装着イメージ

パラマウントベッド（東京都江東区）では、みずほリース（東京都港区）との共同で、睡眠計測センサー『眠りSCAN』を対象とした新しいレンタル制度を開始する。『眠りSCAN』は、医療・高齢者施設などで、入居者の見守りや生活状態の把握などの目的で利用されている睡眠計測センサー。シート状のセンサーをマットレスの下に敷きこむだけで、身体に何も装着することなく、寝返りや呼吸、脈拍などの体動を検出し、利用者の呼吸数や脈拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などを遠隔でもリアルタイムで把握することができるといったもの。医療・高齢者施設などでは、介護者の負担軽減のために活用されているという。

新たなレンタル制度では、年間更新毎に料金が低減され、5年間レンタルすると所有権が無償譲渡されるという内容。購入する場合よりも導入初期に必要な費用を抑えられるメリットがある。

<https://www.paramount.co.jp/news/detail/129>

アイデアの**商品化**を推進する

身近な**発明展**®

特許料
3億円!

アイデア
募集中

発明家たちの
登竜門

企業の
**新製品
開発に**

小さな創造を社会に活かす
一般社団法人 発明学会

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト

生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。テーマは『介護予防』——それと並行して子どもや高齢者、そして世の中にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第30回 新幹線用 紙製組み立て式ハンガー

『Mahiru Hanger (マヒルハンガー)』

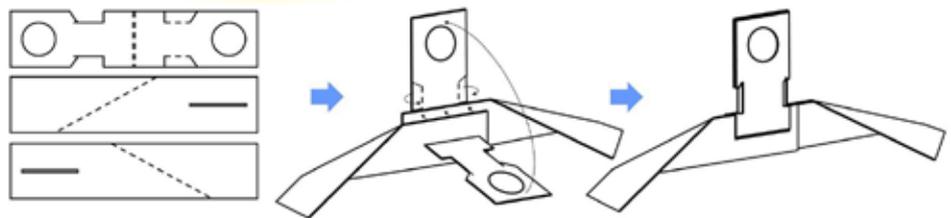


発明者のマヒルさん

窓際の席じゃなくても

服がかけられます!!

～広げてかけられるのも嬉しい～

マヒルハンガー
クラウドファンディング

小学4年生のマヒルさんは、新幹線に乗るたびに、不便に思っていたことがありました。それは、新幹線には、服をかけるフックが窓際しか付いていないことです。

小学4年生のマヒルさんは、窓側の席に座れなかったとき、服が掛けられませんでした。また、仮に窓側の席に座れて、そのフックが使えたとしても、服を広げてかけることはできません。

「新幹線の中で使える組立式のハンガーがあったら便利だね」という家族の日常会話からスタートしました。紙を切って試作を繰り返し、お父さんお母さんと3人一緒に

試行錯誤しながら発明したのが、新幹線専用の組立式ハンガー『Mahiru Hanger (マヒルハンガー)』です。

構造は、3枚の厚紙を材料にした組立式ハンガーです。ハンガーには、吊り下げ部に円形の穴があります。新幹線ではそれを座席アームの留め具に引っかけて使用します。

組立前は薄くて軽いので、重ねた状態でバックなどに入れて持ち運んでもジヤマにはなりません。

「世の中に役立つものができた」といううれしさから、紙製品を製造する工場に生産を依頼し、商品販売に挑戦することに。完成から1年後には、お父さんに協力してもらって特許出願に挑戦。みごと特許も取れました。小学4年の夏休みには、発想から試作、商品化までの発明をまとめ、自由研究の題材にもしました。

マヒルさんは、このハンガーを世の中に広めるため、そして、お母さんと二人で、このハンガー専門のオンライン

ンショップを始めるため、2020年1月25日から2月25日までクラウドファンディングに挑戦します。

小学4年生の発明家、マヒルさんの今後のさらなる活躍が楽しみです！（松野泰明）

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

『発明ライフ入門』（希望者は下記まで）

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03(5366)8811 y-matsuno@hatsume.or.jp



こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野均の「シニア萬、遊記」第28回

6つの展示会が一堂に——東京ケアウィーク2020

2020年2月12日(水)～14日(金)、東京ビッグサイトにおいて、「東京ケアウィーク2020」が開催されます。主催はプティックス株式会社。

「東京ケアウィーク2020」は全6展の総称です。(右図参照)

プティックスは介護用品のインターネット通販から事業を開始し、2015年に第1回「Care TEX」を開催、展示会事業に参入しました。介護・高齢者市場が急成長すると伴に展示会もジャンルが増加し、前記のように今回は6つの展示会が同時開催されます。

特徴としては単にスペースを販売するだけの展示ではなく、「マッチング」という部分に力点を置き、出展者と来場者をいかに適切に繋ぐかに力を入れているようです。

高齢者ビジネス、介護ビジネスに関わる人は見逃せない展示会だと思います。

入場料5,000円ですが、事前登録で無料になります。

- ◎ **第6回 CareTEX**
(国際介護用品展、介護施設産業展、介護施設ソリューション展)
介護業界最大級のBtoB商談展
- ◎ **第3回 次世代介護テクノロジー展 (Care テクノロジー)**
介護現場で役立つ最先端テクノロジー (AI, IoT, ロボット, VR など) が集結
- ◎ **第3回 健康長寿産業展 (ヘルスケア JAPAN)**
高齢者の「健康で長生き」を支援する商品・サービスが集結
- ◎ **第3回 超高齢社会のまちづくり展 (Care CITY)**
超高齢社会を支える「まちづくり」のための商品・技術・サービスが集結
- ◎ **第1回 在宅医療総合展**
在宅医療を支えるソリューション・最新機器・サービスが集結
- ◎ **第1回 健康施術産業展 (一からだ EXPO)**
施術所を支援する技術・サービス・機器等を一堂に集めた商談展

詳細は公式サイトをご覧ください。→ <http://caretex.jp/>



画像出典：プティックス(株)/ケアテックス公式サイトより

Author /
林野 均 (はやしのひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表。
一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員。



『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。

<https://planningbrain.com>

デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ
プランニング・ブレン・モンジュ
tel.090-3682-3310

認知症を考える

認知症の人と作った『小銭が取り出しやすい財布』

認知症×デザイン「トークセッション&報告会」で発表：DFCパートナーズ

DFCパートナーズ（東京都小金井市）ではこのほど、認知症の人とともに

行う商品開発プロジェクト第一弾商品として『niho（にほ）小銭が取り出しやすい財布』を開発した。



この商品開発プロジェクトは、「認知症の人の気づきや意見を社会のものづくりに反映して商品化する」という新しいスタイルの商品開発。発案者は、DFCパートナーズが運営する『認知症の人と家族のためのオンラインストアdfshop』店長の清水祥子氏で、外

出時、自分で支払うことが難しくなった認知症のお父さんの姿から、「認知症の人が使いやすい構造の商品があれば生活の困りごとを減らせるのではないかと」と、立案にいたったという。

この商品のブランド名『niho（にほ）』は、認知症でも介護を必要とせず自宅で暮らす人が多いこと、その存在が社会に認識されて、認知症の人が使う想定で設計された商品が当たり前になる社会をめざしたいという思いから、「認知症の人の暮らしを応援するブランド」として2019年12月に誕生した。

<https://u-s-d.co.jp/mimicare/>

万一の事故に備えて装着する「車イス用ドラレコ」

GPS アンテナなどオプションも充実：トライクスジェイピー

今回は、この車イス用ドラレコに、「水平70度」の広角レンズを持つカメラと、トラックインゲデータを保存できるGPSアンテナの2つのオプションを追加あわせて車イス用ドライブレコーダーとは別のラインナップとして、スマホに対応したWi-Fiモニターが製品ラインナップに加えられた。

トライクスジェイピー（横浜市神奈川区）では、今冬より『車イス用ドライブレコーダー』の販売を開始した。車イス利用者の外出できる機会が増える一方で、自動車・自転車・歩行者との接触事故、踏切事故、単独での転倒、公共交通機関利用時のトラブルなどが増加傾向にあることから、車イスや電動カーートの利用者が、事実確認をスムーズに行うというニーズに応えた。



<https://trikes.jp/page3.html>

さがし愛・見守りセット
介護保険適用

SAN
さがし愛ネット

ビーコンが、在室・外出・徘徊を検知、アラートでご家族に知らせます。



◎TAISコード：01717-000002
◎分類：徘徊老人監視システム
◎希望小売価格：¥150,000

製造：株式会社サンコウ電子
販売：さがし愛ネット合同会社

東京都千代田区外神田 2-12-6
ホリビル 3F

<http://www.sagashi-ai.net>

安心のビーコン見守り

介護施設・無料モニター募集中!

- ・デイサービスご利用者などに簡単に体験して頂けます。
- ・受信機を置くだけで安心の見守りシステムができます。
- ・設置料・通信費などのご負担は一切ありません。



※地域ごとにモニター募集期間を設けます。詳しくは下記まで。

フリーダイヤル

0120-966-696

メール

contact@sagashi-ai.net

家族の見守り

熱視線 あの製品にフォーカス

ヴェイストーン

あやすことので得られる「癒し効果」

ヴェイストーン(大阪府大阪市)では、主にシニア層に向けて開発した新しいヒーリングコミュニケーションデバイス「かまって『ひろちゃん』」の発売を開始した。赤ちゃんとあやすることによって癒やしの効果が得られるという新しいヒーリングコミュニケーションデバイス『ひろちゃん』は、本物の赤ちゃんと同じように、様々な声で泣き笑いをすること、ご機嫌



<https://www.vstone.co.jp/products/hiro/>

**ヒーリングコミュニケーションデバイス
かまって『ひろちゃん』**

嫌の状態を表現。ユーザーは、『ひろちゃん』を「だっこ」したり「たかいたかい」したりすることでコミュニケーションすることできる。『ひろちゃん』内部には加速度センサーとスピーカーが搭載されており、ユーザーが「抱っこ」や「たかいたかい」などのお世話をすると、その揺れが検出され『ひろちゃん』のご機嫌が変化。ユーザーが『ひろちゃん』に構うことでご機嫌は

良くなるが、放っておくと(加速度センサーの値に変化が現れないと)、ご機嫌が悪くなり、最終的には泣き出してしまおうという。かまって『ひろちゃん』の利用場面としてヴェイストーンでは「年齢を問わず様々な方にお使いいただけますが、特にシニア世代の癒やしを求める方々や、ケアハウス、介護施設などでお使いいただけるよう配慮しています。——」としている。続けて『ひろちゃん』の開発にあたりご協力い

ただいた介護施設でのテストでは、施設スタッフの方などに対して反応が薄い方でも、『ひろちゃん』が泣きだすと自発的にあやし始めたり、『ひろちゃん』が笑い出すとつられて笑みを見せるといった場面も見られました。——とし、製品を導入することでユーザー本人の癒やしとともに、施設スタッフの労務軽減に繋がる効果も期待できるとした。

販売は同社公式ウェブショップなどで取り扱われる

**『栄養睡眠改善トレーナー』認定資格を取得して、
あなたも活躍してみませんか？**



眠りと食事で毎日げんき！



一般社団法人 **日本栄養睡眠改善協会**

The Japan Association for Better Sleep and Nourishment